

平成 27 年 7 月 14 日

各 位

会社名 山下医科器械株式会社
代表者 代表取締役社長 山下 尚登
(コード番号：3022 東証第 1 部)
問合せ先 取締役管理本部長 伊藤 秀憲
(TEL 092-726-8200)

新中期経営計画について

このたび、当社グループは、平成 28 年 5 月期を初年度とする 3 ヶ年の中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

当社は平成 24 年 5 月期より平成 26 年 5 月期を計画期間とする前中期経営計画により、経営基盤である医療機器販売における生産性の回復を最重要課題として推進し、社員還元・株主分配・内部留保を十分に実施できる利益体質の再構築に向け、全社を挙げて取り組んで参りました。

その結果、基盤事業である医療機器販売業は、各事業分野において好調な推移を示し、創業以来初となる売上 500 億円を突破するとともに、利益面に関しましても過去最高益を更新しております。

一方で、平成 25 年 11 月に発覚した元従業員による不祥事の発覚以来、コンプライアンス面や相互牽制機能等の更なる強化に努め、今後も全社をあげて継続して取り組むべき課題としております。

お客様、株主各位および関係者各位のご期待に沿えるよう、本中期経営計画の目標達成に全社を挙げて取り組んで参りますので、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

記

1. 基本方針

「トータル・メディカル・サポート（総合医療支援）企業」を事業の基本精神として、地域医療の充実と安定・医療の品質向上・医業経営の効率化・患者と医療従事者の安全安心に資する様々な商品・サービスを開拓し提案して参ります。また、コンプライアンスを徹底し、企業理念であります「地域医療に貢献する」を追及し続けることにより、企業の社会的責任を果たして参ります。

(1) 更なる基盤事業の強化と推進体制の構築

各部門に即した機動的な戦略により、地域性や専門性、医療の IT 化など多様化するニーズに総合的に対応していくことで、お客様へより一層ご満足いただける製品・サービスをご提供して参ります。また、高付加価値商材の創出を積極的に推進し、収益力の高いビジネスモデルの構築を進めて参ります。

(2) 地域医療構想に即した新規事業の創出

地域医療に貢献するトータル・メディカル・サポート企業として、より地域に根差した商品供給体制、流通サービス形成モデルを確立していくことで、医療現場をサポート致します。また、医療

制度改革の状況を踏まえ、周辺事業への積極的な取り組みにより企業価値向上を目指します。

(3) グループ統制とガバナンス強化に即した経営体制の刷新

「適正規模でのグループ化、権限・責任の明確化」、「各事業領域における専門性の追求と有機的なシナジー効果の発揮」、「機動的で迅速な意思決定」を実現するグループ経営体制の構築を推進して参ります。

(4) 積極的な人材確保と教育

今後予想される労働人口の減少に対して、採用手法や資源投下を見直しつつ、積極的な労働力の確保を行うとともに、次世代を担う若手の育成や、営業力強化によるサービス向上のための各段階別研修を積極的に実施して参ります。

(5) コンプライアンス、内部統制の徹底と経営理念経営

コンプライアンスや内部統制システムの徹底、「経営理念を基軸とした経営」を全社に周知し、各事業所・部門において、コンプライアンス研修の継続強化と段階別教育を実施することで、社員の正しい仕事観、倫理観に基づいた業務を展開して参ります。

2. 業績目標

本計画最終年度（平成30年5月期）の主要業績目標は以下の通りです

- (1) 連結売上高 58,000百万円
- (2) 連結経常利益 850百万円

(注) この中期経営計画における業績目標は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって目標数値と異なる結果となる可能性があります。また、当社グループの中期経営計画は、ローリング方式により修正することがあります。

以上